

I= R= I= D= I= U= M

—— amp & ir cab ——

USER MANUAL

strymon®

もくじ

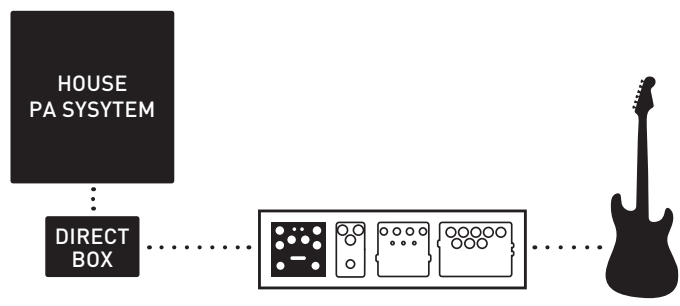
..... :

Iridiumの接続方法	3
コントロール&コネクション	6
ライブエディット機能	13
パワーアップモード	16
外部コントロール	19
MIDI 設定	24
ファクトリーリセット	32
主な特徴	33
スペシフィケーション	34
付録	
ライブエディット機能&パワーアップモード	36
IR Cab の詳細	40
オーディオ・ルーティング	44
サンプル・セッティング	48
品質保証に関して	50

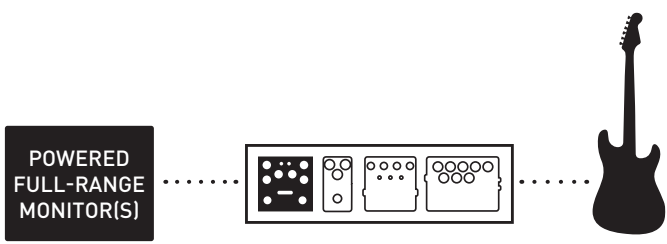
Iridiumの接続方法

Iridiumは、非常に完成度の高いチューブアンプトーンのモデリング、他に例を見ない高いクォリティーのIRキャビネット、自然なルームアンビエントを届けてくれます。どんなアプリケーションでも、ギターサウンドを送り出すメイン機としてその役割を果たします。

① ステージにて



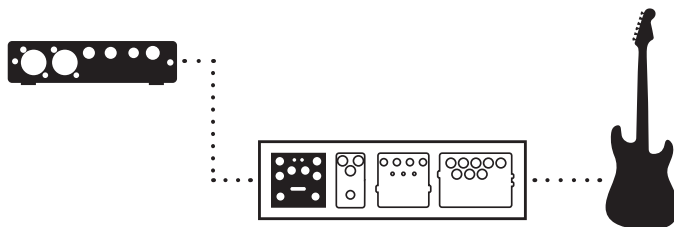
図のようにペダルボードの出力からPAシステムに接続します。ギターサウンドはハウスマニタースピーカーかイヤモニターシステムでモニターします。また、個人用にフルレンジのパワードモニターを使用するのも良いでしょう。



ノート： Iridiumはアンプとキャビネットのサウンドを奏でるようにデザインされています。ギターアンプへ入力するようにはデザインされていません。ダイレクトとギターアンプの両方を考えてIridiumをペダルボードに入れた場合、ペダルボードからギターアンプへ行く場合はIridiumをバイパスしてください。

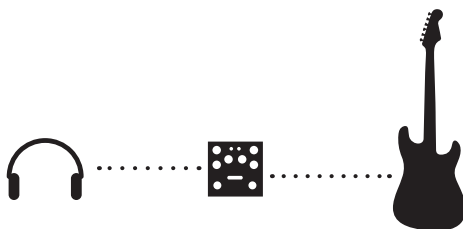
Iridiumの接続方法

② スタジオにて



Iridiumの出力をレコーディング用のインターフェースに直接繋がします。アンプをマイキングして録音する必要がなくなります。

③ 自宅で



図のようにヘッドフォン接続すると、クラシックアンプを部屋でプレイした時のリアルなサウンドがダイレクトに楽しめます。

ステージ、スタジオ、ホームユースのアドバイス

Iridiumは、単独でもペダルボードに入れても使用できます。

- ・ エフェクトボードのサウンドをアンプに繋ぐように、Iridiumはペダルボードの最終段に入れます。
- ・ デレイや空間系のエフェクターの前にIridiumを挿入することも可能です。
- ・ ヘッドフォンでサウンドチェックする際は、アンプに接続するエンドをIridiumの入力に接続してください。

Iridiumの接続方法

④ その他の使い方

Iridiumは以下のスペシャルな使い方が可能です。

Ampプロセッシングのみを使用する。

IridiumのCab/バイパスモードを選択し、出力をアンプのリターン又はギターアンプのパワー入力に接続します。

(15ページのCab/バイパスモードをご覧ください。)

IR cabプロセッシングのみを使用する。

IridiumのAmpバイパスモードを選択し、プリアンプ又はプリアンプ (Riverside)ペダルをIridiumの入力に接続します。

(15ページのAmp/バイパスモードをご覧ください。)

注意：ギターアンプのスピーカー出力を決してIridiumに接続しないでください。IridiumのIR cabをギターアンプと使用したい場合は、ギターアンプのラインアウト又はエフェクトセンドからIridiumの入力に接続してください。この場合も、ギターアンプはスピーカー出力にロード（負荷）を接続する必要があります。又、Iridiumの入力をラインレベルに設定してください。

(16ページのレベル設定をご覧ください。)

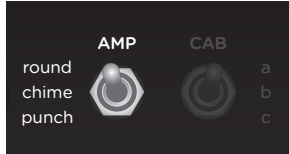
キャビネット以外のWAVファイル

Iridiumには、如何なる24bit/96kHz WAV IR（ベースキャビネット、アコースティック楽器のボディーレスポンス、音楽サンプル等）もアップロードが可能です。

コントロール&コネクション - フロントパネル

AMP / アンプ

3つの異なるアンプタイプから選択します。



round (ラウンド)

Fender® Deluxe Reverb®の特性をモデリングしています。

このアンプはクリーン&ブライトなフェンダー独特のミッドスクープサウンドが特徴で、広いヘッドルームも備えています。**MIDDLE**を12時方向（センター）に設定すると、デラックス・リバーブのオリジナルキャラクターが再現されます。デラックス・リバーブのノーマルチャンネルのオリジナルトーンを保ちつつ、このコントロールを下げると更にミッドをスクープしたサウンドが、また、これを上げるとTweed（ツイード）トーンを彷彿させるサウンドが得られます。

chime (チャイム)

Vox® AC30TB (トップ・ブースト) のBrilliantチャンネルをベースにしています。エッジが効いたブライトなサウンドが特徴的です。軽いタッチではエアー感が快く、しっかり弾くと特徴的なエッジが効いてきます。**MIDDLE**がオリジナル機のTone Cutノブの働きをし、これを上げるほど高域がカットされます。さらに、オリジナルアンプのゲインを再現しており、**DRIVE**を上げていくと、トーンシェープされたブライトなサウンドからタイトな低域のサチュレーションまで再現してくれます。

punch (パンチ)

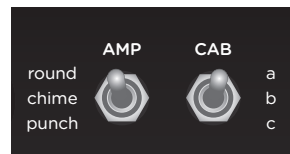
他のチャンネルより太く、高いゲインのMarshall® Plexi (Super Lead1959)をベースにしたサウンドに仕上げました。パワフルなミッドレンジと、スムーズなオーバードライブが特徴です。**DRIVE**コントロールを2時の位置よりも上げると、ホットロッド改造したハイゲインPlexiサウンドも得られます。

*All product names are trademarks of their respective owners, which are in no way associated or affiliated with Strymon. These product names, descriptions and images are provided for the sole purpose of identifying the specific products that were studied during Strymon's sound design process. See [page 34](#) for a list of U.S. registered trademarks.

コントロール&コネクション - フロントパネル

CAB / キャブ

アンプ毎に3種類のスピーカーキャビネットが選択できます。各キャブは、L&Rそれぞれに24bit/96kHz 500msのインパルスレスポンス（ファイル）がロードされています。



モノキャビネットは、同じIRデータが両チャンネルにロードされています。出荷時のロードされている9xIRは、Cabireu、Celestion®、OwnHammer、Valhallirat. のデータを使用しています。

以下が出荷時のロードされているIRです。：

round

a : 1x12 **Fender® Deluxe Reverb®**

b : 1x12 **Fender® Blues Junior®**

c : 2x10 **Fender® Vibrolux®**

chime

a : 2x12 **Vox® AC30-6** open back fawn

b : 1x12 Custom cab w/ **Celestion® Blue AlNiCo**

c : 4x12 **Mesa/Boogie® Half-Back®**

punch

a : 4x12 **Marshall® w/ Celestion® G12M-25s**

b : 2x12 Custom cab w/ **Celestion® Vintage 30s**

c : 8x12 **Marshall® w/ Celestion® T652s**

これらのIRの詳しい説明は、アペンディクス2をご覧ください。ロードされているIRデータは、他の24 bit/96 kHz WAVフォーマットのIRに置き換えることが可能です。その際は、[strymon.net/ support/iridium](https://strymon.net/support/iridium) にある「Strymon Impulse Manager」ソフトウェアを無償ダウンロードしてご使用いただけます。

*All product names are trademarks of their respective owners, which are in no way associated or affiliated with Strymon. These product names, descriptions and images are provided for the sole purpose of identifying the specific products that were studied during Strymon's sound design process. See [page 34](#) for a list of U.S. registered trademarks.

コントロール&コネクション - フロントパネル

...DRIVE（ドライブ）

入力信号のゲインを調整します。アナログJFET段と選択したアンプのプリアンプ、それらの両ゲインを調整します。更に、**DRIVE**の上昇による出力のレベル調整は**LEVEL**で行います。



LEVEL（レベル）

ペダルがON時の出力ボリュームとして働きます。L&R、ヘッドフォン出力のレベルをコントロールします。

ノート：LEVEL TRIM（レベル・トリム）というライブエディット機能を追加しました。この機能は、プリセットに設定されたレベルを変えることなく、L&Rの出力ボリュームとヘッドフォン出力が変更できます。この機能はヘッドフォンを使用しているときに便利です。

（詳細は14ページをお読みください。）

コントロール&コネクション - フロントパネル

クラシックなアンプのトーンコントロールノブは、各コントロールの設定により複雑な周波数の変化を生み出します。我々が開発したMatrix Modeling™プロセッシングは、各アンプのユニークなトーンの変化を再現できます。

MIDDLE (ミドル)

roundと**punch**のアンプでは、中域周波数をコントロールします。**chime** アンプではハイカットの働きをします。(ビンテージVoxアンプと同様です。)

TREBLE (トレブル)

各アンプの高域周波数をコントロールします。



BASS (ベース)

各アンプの低域周波数をコントロールします。

ROOM (ルーム)

自然なルーム・アンビエンスが調整できます。アンプやキャビネットを置いた自然なアンビエントの部屋のIR (256msのインパルスレスポンス) を使用し、長いディケイはアルゴリズムで解決しています。このルームIRは変更できません。

(Room Sizeの調整は13ページをお読みください。)

コントロール&コネクション - フロントパネル



FAV (フェイバリット) :

FAVORITE(お気に入り)セッティングの保存とリコールが可能です。**FAV** LEDが**ブルー**に点滅するまでフットスイッチを長押しします。改めてFAVを押し、新しいセッティングをセーブします。

フェイバリットプリセットは、

MultiSwitch Plusの使用や外部MIDIデバイスでも保存できます。

(MultiSwitch Plusの使用に関しては22ページをお読みください。)

(MIDIに関しては28ページをお読みください。)

ON (オン) :

amp、cab、roomのプロセッシングが動作します。ノーマルモードでは**レッドLED**が点灯します。出力モードの変更がLEDカラーに反映されます。

(15ページのアウトプットモードをお読みください。)

コントロール&コネクション - リアパネル

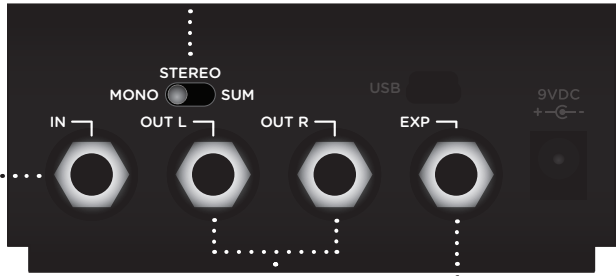
AUDIO INPUT SELECTOR 信号入力セクター

MONO (モノ) :ギター信号を入力するような場合に選びます。この出力はステレオです。モノ接続する際はOUT Lのみ接続します。

STEREO (ステレオ) :ステレオ入力信号の場合に選びます。この出力はステレオです。

SUM (サム) :ステレオ信号がサミングされモノになり、**Lジャック**のみから出力されます。

(Appendix 3のシグナルフローの図をご参照ください。)



IN (入力)

インストルメント又はライン信号を入力します。TRSアダプターケーブルでステレオ信号が入力できます。

(16ページをお読みください。)

OUTPUTS (出力)

オーディオ出力です。モノ出力はOUT Lを使用してください。

EXP (エクスプレッション)

一般的なTRSタイプのエクスプレッションペダルを接続すると、amp (アンプ) 前のボリュームペダルとして動作します (デフォルト設定)。また、**EXP**入力にはstrymon MiniスイッチやMultiスイッチプラス、strymon MIDI EXPケーブルでプリセットの変更やMIDIオートメーションも使用可能です。

(18&19ページをご参照ください。)

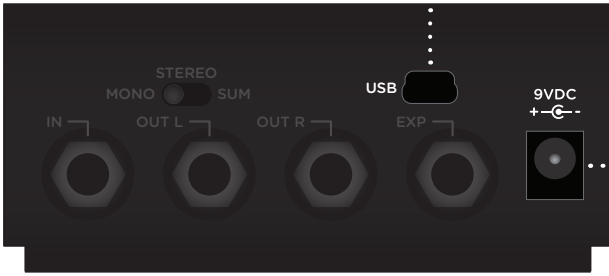
コントロール&コネクション - リアパネル

USB

IRファイルをコンピューターからアップロードする際に使用します。最新情報はstrymon.net/support/iridiumをご覧ください。

POWER

9VDC (センターマイナス、500mA以上) の電源と接続してください。または、strymonの電源製品(Ojai, Zuma R300)を使用してください。500mA以上の電流が必要です。



フェイシングパネル



HEADPHONE OUT

ステレオミニジャック1/8インチのヘッドフォン出力です。出力は比較的高いインピーダンスのヘッドフォン (25~70Ω) に適応するようにデザインされています。**LEVEL**コントロールで出力レベルを調整します。

ノート：入力インピーダンスの高いヘッドフォンを使用すると、出力レベルは低下します。

ノート：ヘッドフォンの出力からはフォーン出力と同じ信号が出力されます。高いインピーダンスのヘッドフォンを接続すると、再生される信号レベルは下がります。LEVEL TRIM (レベルトリム) 機能を使うと、FAVORITE (お気に入り) 設定やMIDI設定を変更せずに、モニターレベルが調整できます。

(詳細は14ページをご覧ください。)

ライブエディット機能 - Amp無効化

アンプ処理を無効にして、レベル、EQ、ルーム、ギター以外のキャブ WAV タイプの IR (ベースキャブ、アコースティック楽器のボディ共鳴、音楽のサンプルなど) を適用するなど、他の入力ソースにIridiumの他機能を利用することができます。



1 ON フットスイッチを押したままにします。両方のLEDが**レッド**に点滅したら、フットスイッチを放します。

2 DRIVE ノブを回して、アンプ処理を有効または無効にします。FAV と ON の両方のLED がステータスを示します。

アンプが有効 - LED が **グリーン** に点灯するまで、DRIVE ノブを50%以上に回します (デフォルト)。

アンプが無効 - LED が **オレンジ** に点灯するまで、DRIVE ノブを50%未満に回します。アンプが無効のときは、LEVEL ノブを使用して入力信号にゲインを追加できます。

3 ON または FAV フットスイッチを押して終了し、アンプ有効/無効設定を保存します。

ノート: このアンプの有効/無効設定は、お気に入り設定またはプリセットごとに保存されます。アンプまたはキャビネットを個別に無効にする「グローバル」ソリューションを希望する場合は、[16ページの「電源投入モード - 出力モード」](#)を参照してください。

ライブエディット機能 - ルームサイズ

ルームリバーブサイズの決定

- 1 **ON**フットスイッチを長押しして、セカンダリー機能モードに入ります。



- 2 フットスイッチを離し、**ROOM**コントロールを回すとLEDの色が変わり、3つの異なるルームサイズ が選択できます。

Small - **グリーン**

Medium - **アンバー** (デフォルト設定)

Large - **レッド**

- 3 **ON**又は**FAV**フットスイッチを押して、ルームサイズのセッティングモードから出ます。

ノート: ルームサイズはFAVやプリセットに保存できます。

ライブエディット機能 - レベルトリム

フェイバリットに保存されているレベルを変更せずに、出力レベルが一時的に変更できます。ヘッドフォンを使用しているときに便利な機能です。

- 1 **ON**フットスイッチを長押しします。LEDが点滅したらフットスイッチを離してください。



- 2 **LEVEL**ノブを調整して出力レベルを決めます。

FAV LEDが下記のステータスを表示します。

-20 dB (**グリーン**) ~ +3 dB (**アンバー**)へレベルを変更できます。

LEDが**レッド**に点灯すると、12時のポジションで出力と同レベルであることを意味します。

- 3 **ON** 又は **FAV** スイッチを押すとレベルトリムが設定されます。

ノート: レベルトリムの値はプリセットには保存されません。ペダルに電源を入れる度に設定が必要です。

パワーアップモード - アウトプットモード



1 ONフットスイッチを長押ししながら電源を入れます。両LEDが点滅したらフットスイッチを離してください。

2 DRIVEノブを設定したいモードに合わせてください。

アンプバイパス モード - グリーン

Cab & Roomプロセッシングのみが動作します。

キャブバイパス モード - アンバー

Amp & Roomプロセッシングのみが動作します。

ノーマル モード - レッド (デフォルト設定)

Amp、Cab & Room全てのプロセッシングが動作します。

3 ON又はFAVフットスイッチを押して、このアウトプットモードの設定から出ます。

ノート：パワーアップ機能の設定は保存されます。
ノーマル使用時はON LEDは、設定したモードのカラーでオン表示されます。

パワーアップモード - インプットモード



- 1 **FAV** フットスイッチを長押ししながら電源を入れます。両LEDが点滅したらフットスイッチを離してください。

- 2 **DRIVE** ノブを設定したいモードに合わせてください。**FAV** LEDがモードを表示します。

インストルメント - **グリーン** (デフォルト)

ギター信号レベルにヘッドルームが調整されます。

ライン - **レッド**

ラインレベルの信号に対応できるようにヘッドルームが10dB上がります。

- 3 **ON** 又は **FAV** フットスイッチを押して、このインプットレベルモードの設定から出ます。

ノート: 通常の電源オン/オフでは、パワーアップ機能は保存された設定から変わりません。

パワーアップモード - EXPジャックオプション

- 1 **FAV** フットスイッチを長押ししながら電源を入れます。両LEDが点滅したらフットスイッチを離してください。
- 2 **LEVEL** ノブを設定したいモードに合わせてください。**ON**がモードを表示します。

エクスプレッション - グリーン LED

TRSエクスプレッションペダルでコントロールノブを制御するモードです。

(詳細は16ページをご覧ください。)

ボリュームプリ - アンバー (デフォルト設定)

TRSエクスプレッションペダルでアンプ、キャビ、ルームの前のボリュームコントロールが可能です。

ボリュームポスト - レッド

TRSエクスプレッションペダルでアンプ、キャビの後とルームの前のボリュームコントロールが可能です。

デジタル - ブルー

- MultiSwitch Plusでの3プリセットの選択に使用できます。
(詳細は21ページをご参照ください。)
- Strymon MIDI > TRSケーブルを接続してMIDI PC (300プリセット) & CCのリモート操作ができます。
(詳細は23ページをご参照ください。)

外部フェイバリット - パープル

strymon MiniSwitchを接続して外部からFAV (フェイバリット) 操作が可能です。その設定と接続後は、本体のFAVスイッチは機能しません。

(詳細は18ページをご参照ください。)

- 3 **ON** 又は **FAV** フットスイッチを押して、このEXPジャックモードの設定から出ます。



ノート：通常の電源オン/オフでは、パワーアップ機能は保存された設定から変わりません。

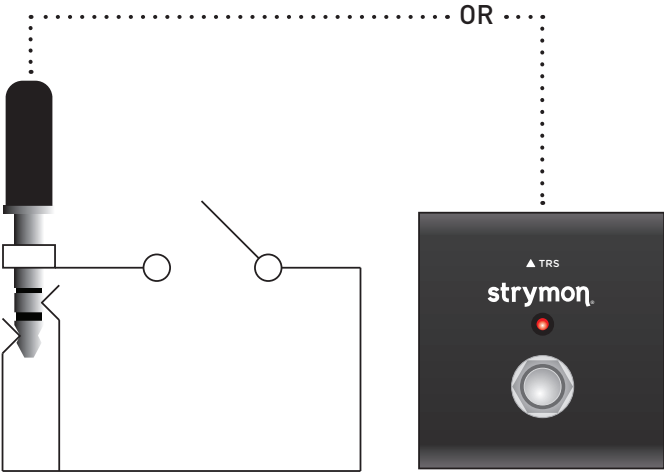
外部コントロール – 外部フェイバリットセットアップ

Strymon MiniSwitchをTRSケーブルでFAVプリセットon/off用に接続します。

- 1 外部フェイバリットモードに変更します。
(17ページをご参照ください。)



- 2 図のようにケーブルと外部スイッチと**EXP**ジャックを接続します。



- 3 この設定の保存には、**FAV**スイッチを2秒以上長押ししてください。

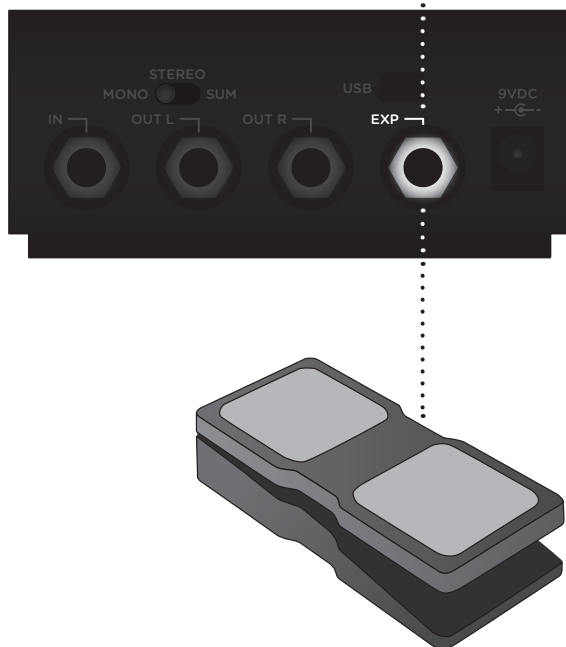
ノート: このモードで**EXP**ジャックにMiniSwitchが接続されると、本体の**FAV**スイッチは機能しません。

外部コントロール – エクスプレッションペダルセットアップ

TRSエクスプレッションペダルでコントロールノブを制御します。

- 1 **EXP**のモード設定を確認してください。
(17ページのEXPエクスプレッションモードをご覧ください。)

- 2 TRSケーブルでエクスプレッションペダルを接続します。



- 3 両LEDが**グリーン**に点滅するまで、両フットスイッチを長押しします。
- 4 ペダルをヒールポジションにします。**FAV** LEDのみが**グリーン**に点滅します。
- 5 コントロールしたいノブ（複数可）のポジションをセットします。
FAV LEDは**レッド**に変わります。

外部コントロール – エクスプレッションペダルセットアップ

.....

- 6 ペダルをトゥポジションにします。ON LEDのみが**グリーン**に点滅します。
- 7 コントロールしたいノブ（複数可）のポジションへセットします。
ON LEDは**レッド**に変わります。
- 8 ON又はFAVフットスイッチを押して、このEXPセットアップの設定から出ます。

ノート：エクスプレッションの設定は、FAV / MIDIプリセット毎に保存されます。

外部コントロール - MultiSwitch Plus

MultiSwitch Plusを使用したFAV設定の3プリセットを追加する方法を説明します。

- 1 USBを接続している場合は、それを外してください。
- 2 両フットスイッチを押したまま電源を再投入します。
LEDが点滅するまでホールドしてください。
- 3 **DRIVE**ノブを時計回りに回し、MIDIチャンネル1に設定します。
FAV LEDが**グリーン**に点灯します。
- 4 **LEVEL**ノブを時計回りに回し、MIDI OUTモードをonに設定します。
ON LEDが**グリーン**に点灯します。
- 5 **ON**又はFAVフットスイッチを押し、この設定から出て、MIDIチャンネルとMIDIアウトの設定を完了します。
- 6 **EXP**ジャックをデジタルモードに設定します。（詳細は24ページをご覧ください。）

- 7 TRSケーブルを**EXP**ジャックに接続します。



- 8 Multi Switch PlusのフットスイッチAを長押しした状態で、TRSケーブルをMulti Switch Plusの出力ジャックに接続して「プリセットモード」に入ります。
これでMultiSwitch Plusのプリセットモードは完了します。



外部コントロール - MultiSwitch Plus

MultiSwitch PlusでIridiumのプリセットを選ぶ：



ノート：MultiSwitch Plusのスイッチ1、2、3は、MIDIプログラム#1、2、3に呼応します。

- 1 LEDが点灯していないスイッチを押すと、プリセットがリコールされます。
- 2 LEDが点灯しているスイッチを押すと、本機のコントロールノブのセッティングに戻ります。

MultiSwitch PlusでIridiumのプリセットを保存する：

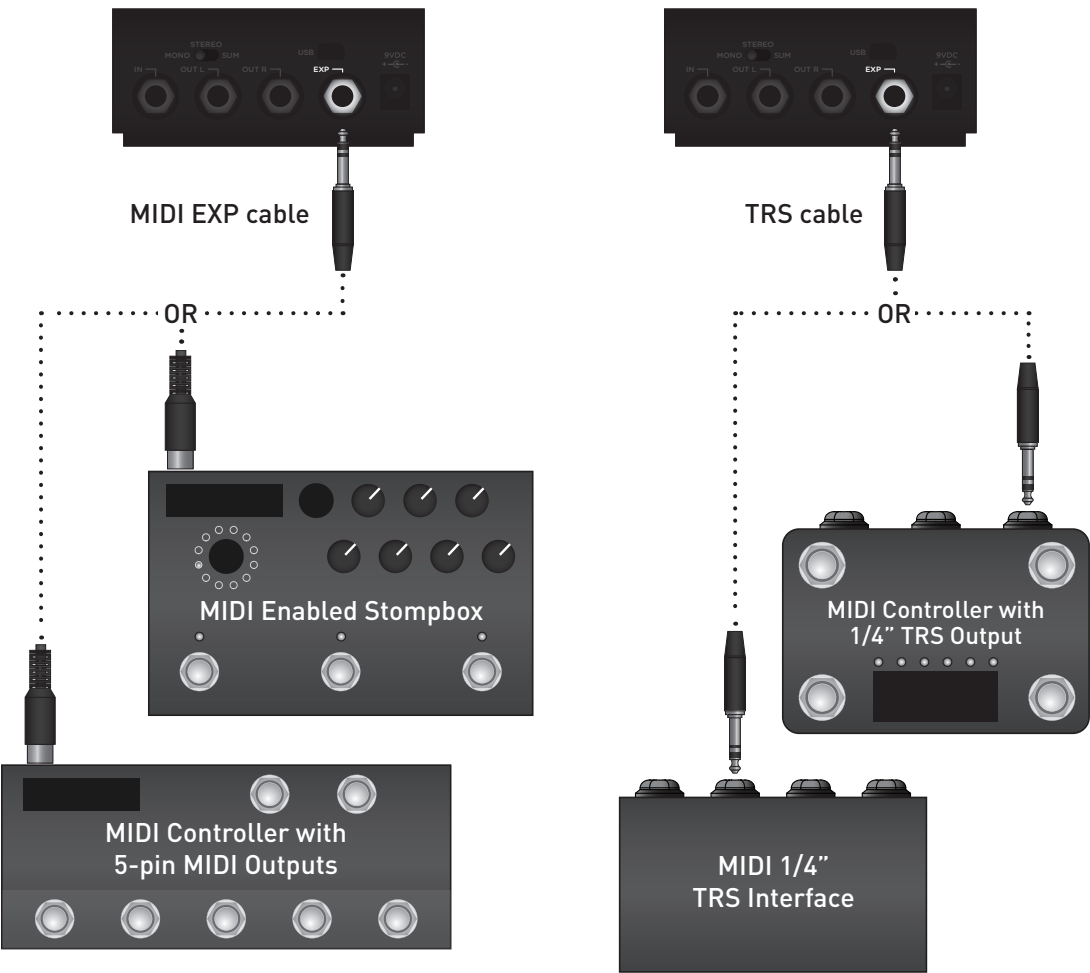
- 1 好みのサウンドに本機を設定し、プリセットとして保存します。
- 2 **FAV** LEDが**ブルー**に点灯するまで**FAV**スイッチを長押しします。
- 3 MultiSwitch Plusの**A**、**B**、**C**のいずれかを押して、そのプリセットロケーションに保存します。本機の**FAV**スイッチを押して、MultiSwitch Plusと保存をリンクします。

ノート：本機のFAVスイッチは、MIDIプログラムチェンジ#の0に呼応します。

MIDI 設定

本機の保存可能な300プリセットの変更、コントロールノブのオートメーション等が、MIDIコントローラーやMIDI機器から**EXP**ジャックに接続し、MIDIメッセージによる変更が可能になります。この機能にはフーンタイプのMIDI出力機、又はstrymon MIDI EXPケーブルが必要です。

互換リストはstrymon.net/support/iridiumでご確認ください。



MIDI 設定

Step 1 – EXPをデジタルモードに設定します。

- 1 **FAV**スイッチを長押ししながら電源を入れます。両LEDが点滅したらフットスイッチを離してください。
- 2 **LEVEL**ノブを、**ON** LEDが**ブルー**に点灯するまで回してください。
- 3 **ON**又は**FAV**スイッチを押してEXPジャック設定モードから出ます。



ノート：本機へデータを送っているだけの場合は、MIDI OutputモードをOFFに設定してください。

(23ページのMIDI Outputモードで設定方法を確認してください。)

MIDI 設定

Step 2 – MIDIチャンネルの設定

MIDIデータの送受信チャンネルを決定します。図を参考にしながら設定してください。MIDIチャンネル4 – 16の使用には、外部MIDIデバイスの接続が必要です。

- 1 本機のUSB接続を解除してください。
- 2 両フットスイッチを長押ししながら電源を入れます。両LEDが点滅したらフットスイッチを離してください。

- 3 **DRIVE**ノブを回してMIDIチャンネルを決定します。**FAV** LEDがチャンネルステータスを表示します。

Channel 1 – グリーン (デフォルト設定)

Channel 2 – アンバー

Channel 3 – レッド

Channel 4-16 – ブルー（1/4"フォーン MIDI 接続が必要です）。

一旦、LEDが**ブルー**に点灯すると、本機はMIDI PC（プログラムチェンジ）メッセージを受けるまで点滅します。そのメッセージを受けると、そのMIDIチャンネルが設定されLEDの点滅が止まります。

- 4 **ON**フットスイッチを再度押して、MIDIチャンネルを保存します。



MIDI 設定

Step 3 - MIDIアウトプットモードの設定

どんなMIDIデータを本機から出力するかを決定します。本機へデータを送っているだけの場合は、MIDI OutputモードをOFFに設定してください。

- 1 本機のUSB接続を解除してください。
- 2 両フットスイッチを長押ししながら電源を入れます。両LEDが点滅したらフットスイッチを離してください。

- 3 **LEVEL**ノブを回して、本機から出力するMIDIデータを決めます。両LEDがステータスを一時的にフラッシュ表示します。

ON - グリーン

本機のノブやスイッチからのMIDIメッセージを送る場合に選択します。（MultiSwitch Plusを使用する場合はONに設定します。）

THROUGH - アンバー

本機が受けたMIDIメッセージをそのまま出力します。

OFF - レッド

本機からMIDIメッセージは出力されません。（デフォルト設定）

- 4 **ON**又は**FAV**スイッチを押して、MIDIアウトプット設定から出ます。



TIP : MIDIコミュニケーションの状態をチェックするには、**FAV**スイッチがオフの時にCC#27で127のバリューを本機へ送ります。MIDIの接続と設定が正しければ、**FAV**フットスイッチがon（点灯します）になります。

MIDI機能 - MIDIエクスプレッションOn/Off

MIDIエクスプレッションメッセージへの反応を選択します。複数のペダルからMIDIエクスプレッションメッセージが同MIDIチャンネルで本機へ送られている場合でも、プリセット毎に反応するペダルを指定することもできます。

- 1 電源が入った状態で ON フットスイッチを長押しし、両LEDが点滅したらフットスイッチを離してください。

- 2 **MIDDLE**ノブを回して、MIDIエクスプレッションメッセージ（CC #100）への反応を決めます。**ON** LEDがステータスを表示します。



OFF - レッド

本機はMIDIエクスプレッションメッセージに反応しません。

ON - ブルー（デフォルト設定）

本機はMIDIエクスプレッションメッセージに反応します。

- 3 **ON**又は**FAV**スイッチを押して、その設定を保存します。

ノート： MIDIエクスプレッション設定は、プリセット毎に保存されます。

MIDI 機能 - プリセットの保存

MIDIモードでは、本機の300プリセットロケーションの何処へでもプリセットの保存が可能です。

- 1 セーブモード（保存モード）へは、**FAV**スイッチを長押しします。LEDが**ブルー**に点滅し、MIDI PCメッセージの受信待ちの状態を表します。



- 2 接続されたMIDIデバイスからMIDI PCメッセージが送られます。LEDが点滅してメッセージを受けて保存されたことを表示します。



プリセットロケーションにプリセットが送られたら、**FAV**スイッチを押して保存します。

MIDI スペック

MIDIプログラムチェンジ (MIDI PC)

本機には、0-299の300プリセットロケーションがあります。MIDIプログラムチェンジメッセージは最大128 (0-127)のため、これらを以下のように3つのMIDIパッチバンクに分けます。

MIDI BANK 0 = PRESETS 0-127

MIDI BANK 1 = PRESETS 128-255

MIDI BANK 2 = PRESETS 256-299

本機は通常の電源投入時には、MIDI Bank (バンク) 「0」が選ばれるため、プリセットは初めの127を使う方が良いでしょう。MIDI PCを受けてプリセットがロードされます。

MIDI Bank1又は2を使用する際は、各MIDI PCの前にMIDI Bank チェンジメッセージ (MIDI CC #0とMIDI Bank#) を送ります。

バンク0&パッチ127 (MIDIメッセージ) を本機が受けるとマニュアルモードになり、本機のコントロール&スイッチの現セッティング (操作面の実セッティング) に戻ります。これはプリセットとしては保存されません。

MIDI スペック

MIDI CC NUMBERS

PARAMETERS	CC#	RANGE	NOTES
Bank Select	0	0-2	
Volume Pedal	7	0-127	
Level	12	0-127	
Drive	13	0-127	
Bass	14	0-127	
Mid	15	0-127	
Treble	16	0-127	
Room Level	17	0-127	
Room Size	18	1-3	(1=small, 2= medium, 3= large)
Amp	19	1-3	(1=small, 2= medium, 3= large)
Cab	20	0-2	(round a, b, c)
	20	3-5	(chime a, b, c)
	20	6-8	(punch a, b, c)
Footswitch Fav	27	0, 127	(0=release, 1-127=press)
Footswitch On	28	0, 127	(0=release, 1-127=press)
MIDI Expression Off/On	60	0, 127	(0=off, 1-127=on)
Expression Pedal	100	0-127	
Bypass/On	102	0, 127	(0=bypass, 1-127=on)
Volume Pedal Pre/Post	9	0.127	[0=Pre, 1-127=Post]

ファクトリーリセット

ファクトリーリセットは、カスタムIR、保存したプリセット、パワーアップモード、エクスプレッション設定、ライブエディットを削除して、工場出荷時の状態に戻します。



1 ONフットスイッチを長押ししながら電源を入れます。両LEDが点滅したらフットスイッチを離してください。

2 図のように、2度MIDDLEを0~100%に回してリセットします。
回していくと以下のように両LEDの色が

Turn 1 - アンバー

Turn 2 - レッド

Turn 3 - アンバー

Turn 4 - 順に色が変わり、最後にレッドが点滅してリセットが完了します。

ノート: ファクトリーリセットを行うと、カスタムIR等も削除されて、工場出荷時の状態に戻ります。

主な特徴

- 3つのMatrix Modeling™ Process（マトリックス・モデリング・プロセス）アンプが、クラシックチューブアンプのサウンド＆フィールをリアルに再現します。
- 9種類の24bit / 96kHz 500msステレオIR（インパルスレスポンス）キャビネットを人気の高いIRプロバイダーから採用しました。
- スモール、ミディアム、ラージの異なるルームサイズが選択できるIR＋アルゴリズムのハイブリット・ルームエミュレーションを搭載しました。
- 各アンプスタイルのオリジナル動作に呼応する、シンプルなDrive、Level、Bass、Middle、Trebleコントロールを採用しました。
- ステレオ入力（TRSアダプターケーブルが必要です）＆ステレオ出力
- インスト、又はラインの選択が可能な入力信号レベル
- 高性能JFETディスクリートアナログ入力段を採用し、最大22dBのアナログゲインが得られます。
- ディスクリート・トランジスター・ヘッドフォンアンプ（1/8インチ出力）
- 専用FAVフットスイッチを採用
- 本機のFAVスイッチに加え、Strymon MultiSwitch Plus（3 x プリセットスイッチング）、MiniSwitch（リモート・スイッチング）の使用が可能。
- エクスプレッションペダルからのコントロールノブのシームレスなリモートコントロール、プリ/ポストボリューム（ログカーブ）が可能。
- Strymon Impulse Managerソフトウェアを使用し、IRキャビネットのロード＆エディットがUSB経由で行えます。
- EXPジャックからMIDIへのフルアクセス（パラメーターコントロール：CC、300プリセット：PC）が可能です。これにはStrymon MIDI EXPケーブル又はMIDI→TRSが必要です。
- amp、cabs両機能（セクション）それぞれのバイパスが可能です。
- 超低ノイズ、高品位の24-bit 96kHz A/D&D/Aコンバーターの採用で、妥協のない優れたオーディオパフォーマンスをお約束します。
- ハイパフォーマンスSHARC DSPを採用
- 32-bit浮遊小数点プロセッシング
- Designed and built in the USA

スペシフィケーション

入カインピーダンス	1M Ohm
出カインピーダンス	100 Ohm
A/D & D/A	24-bit 96kHz
最大入力レベル	+8dBu
周波数特性	20Hz ~ 20kHz
S/N比	110dB
DSPパフォーマンス	1585 Mega FLOPS
バイパス	バッファードスイッチング
サイズ	(D) 11,4 cm x (W) 10,2 cm x (H) 4,4 cm

電源

strymon 電源製品（センターマイナス9VDC）を使用してください。
最低500mAの電流が必要です。

USトレードマークリスト

Fender®, Deluxe Reverb®, Blues Junior®, and Vibrolux® are registered trademarks of Fender Musical Instruments Corporation. Vox® is a registered trademark of Vox R&D Limited. Marshall® is a registered trademark of Marshall Amplification Plc. Mesa/Boogie®, Half-Back®, and Black Shadow® are registered trademarks of Mesa/Boogie, Ltd. Celestion® is a registered trademark of Rola Celestion, Ltd. Electro-Voice® is a registered trademark of Robert Bosch, GmbH. Jensen® is a registered trademark of Sica Altoparlanti S.R.L.

Appendix 1

ライブエディット機能&パワーアップモード

ライブエディット機能のクイックリファレンス

下記にパラメーターへのアクセス方法とその機能を説明します。

ON フットスイッチを長押しして、セカンダリー機能のモードへ入ります。フットスイッチを離し、ROOMコントロールを回すと、下記のようにLEDがステータスを表示します。

ON 又は **FAV** フットスイッチを押して、ルームサイズのセッティングモードから出ます。

ルームサイズ

(図を用いた説明は13ページをご覧ください。)

ROOM ノブを回すと **ON** LEDが下記を表示します。

Small = **グリーン**

Medium = **アンバー**

Large = **レッド**

MIDIエクスプレッションON/OFF

(図を用いた説明は27ページをご覧ください。)

MIDDLE ノブを回すと両LEDが下記を表示します。

Off = **レッド**

On = **ブルー**

レベルトリム

(図を用いた説明は14ページをご覧ください。)

LEVEL ノブを回すと **FAV** LEDが下記を表示します。

-10 dB = **グリーン**

0 dB = **レッド**

+3 dB = **アンバー**

パワーアップモードのクイックリファレンス

パワーアップ機能は、通常の電源オン/オフの際には設定が保持されます。ファクトリーリセットではデフォルト設定に戻ります。

ON フットスイッチを長押ししながら電源を入れます。両LEDが点滅したらフットスイッチを離してください。

ON 又は **FAV** フットスイッチを押して、このアウトプットモードの設定から出ます。

アウトプットモード

(図を用いた説明は15ページをご覧ください。)

DRIVE ノブを設定したいモードに合わせてください。

Amp バイパス = **グリーン**

Cab バイパス = **アンバー**

Normal = **レッド**

ファクトリーリセット

(図を用いた説明は31ページをご覧ください。)

2度 **MIDDLE** ノブを0~100%に回してリセットします。

FAV フットスイッチを長押ししながら電源を入れます。両LEDが点滅したらフットスイッチを離してください。

ON 又は **FAV** フットスイッチを押して、このインプットレベルモードの設定から出ます。

インプットレベル

(図を用いた説明は16ページをご覧ください。)

DRIVE ノブを回すと、**FAV** LEDがステータスを表示します。

インストルメント = **グリーン**

ライン = **レッド**

エクスプレッション

ジャック モード

(図を用いた説明は17ページをご覧ください。)

LEVEL ノブを回すと **ON** LEDがステータスを表示します。

エクスプレッション - **グリーン**

ボリューム PRE - **アンバー**

ボリューム POST - **レッド**

デジタル - **ブルー**

外部フェイバリット - **パープル**

パワーアップモードのMIDIクイックリファレンス

下記にパラメーターへのアクセス方法とその機能を説明します。パワーアップセッティングは、通常の電源オン/オフの際には設定が保持されます。ファクトリーリセットではデフォルト設定に戻ります。

USBの接続を外してください。**FAV**と**ON**の両フットスイッチを長押しして、両LEDが点滅してライブ エディット モードに入ったことを確認します。両フットスイッチを離します。

再度**FAV**スイッチを押し、変更を保存してモードから出ます。

MIDIチャンネル

(図を用いた説明は25ページをご覧ください。)

DRIVE ノブを回すと**FAV** LEDがステータスを表示します。

- 1 - **グリーン**
- 2 - **アンバー**
- 3 - **レッド**
- 4-16 - **ブルー**

MIDIアウトプットモード

(図を用いた説明は26ページをご覧ください。)

LEVEL ノブを回すと**ON** LEDがステータスを表示します。

- On = **グリーン**
- Through = **アンバー**
- Off = **レッド**

Appendix 2

IR Cab の詳細

Cab ファイル - round

AMP round のIR Cab :

round - a

Name: 112 DVRB (stereo)
Cab: 1x12 Fender® Deluxe Reverb®
Speaker: Fender® CTS ceramic
Provided by: OwnHammer
File Name: OH 112 DVRB CTS.wav

round - b

Name: 112 FE-Junior (mono)
Cab: 1x12 Fender® Blues Junior®
Speaker: Jensen® C12N
Provided by: cabIR.eu
File Name: JUNIOR_FOCUS_CAB.wav

round - c

Name: 212 FE-VLUX65 (stereo)
Cab: 2x10 Fender® Vibrolux®
Speaker: Jensen® C10NS
Provided by: cabIR.eu
File Name: VLUX65-M-Re1-15-Re2-15.wav

*All product names are trademarks of their respective owners, which are in no way associated or affiliated with Strymon. These product names, descriptions and images are provided for the sole purpose of identifying the specific products that were studied during Strymon’s sound design process. See [page 34](#) for a list of U.S. registered trademarks.

Cab ファイル - chime

AMP chime のIR Cab :

chime - a

Name: 212 V30 Blue (stereo)
Cab: 2x12 Vox® AC30/6 open back fawn
Speaker: Celestion® T0530 Blue AlNiCo
Provided by: OwnHammer
File Name: OH 212 VC30 BLU-12C CLASC-06.wav

chime - b

Name: 112 Blue Closed (mono)
Cab: 1x12 custom closed back
Speaker: Celestion® Blue AlNiCo
Provided by: Celestion®
File Name: Cel Blue 112 C Hi-Gn 421+57 Celestion.wav

chime - c

Name: 412 V2-MHB (mono)
Cab: 4x12 Mesa/Boogie® Half-Back®
Speaker: Celestion® Black Shadow® MC-90 + Electro-Voice® Black Shadow® EVM12-L
Provided by: Valhallir.at
File Name: V2-MHB412-d-e906-C5.wav

*All product names are trademarks of their respective owners, which are in no way associated or affiliated with Strymon. These product names, descriptions and images are provided for the sole purpose of identifying the specific products that were studied during Strymon’s sound design process. See [page 34](#) for a list of U.S. registered trademarks.

Cab ファイル - punch

AMP punch のIR Cab :

punch - a

Name: 412 MRBW GNR (stereo)
Cab: 4x12 Marshall®
Speaker: Celestion® T1221 G12M-25
Provided by: OwnHammer
File Name: OH 412 MRBW M75-GNR BROWN-00.wav

punch - b

Name: 212 V30 Open (mono)
Cab: 2x12 custom open back
Speaker: Celestion® Vintage 30
Provided by: Celestion®
File Name: V30 212 O R-121 Dark2 Celestion.wav

punch - c

Name: Punch C: 812 PETE (mono)
Cab: 8x12 Marshall®
Speaker: Celestion® T652 AlNiCo
Provided by: cabIR.eu
File Name: PETE_CAB_M01_MULTI_I.wav

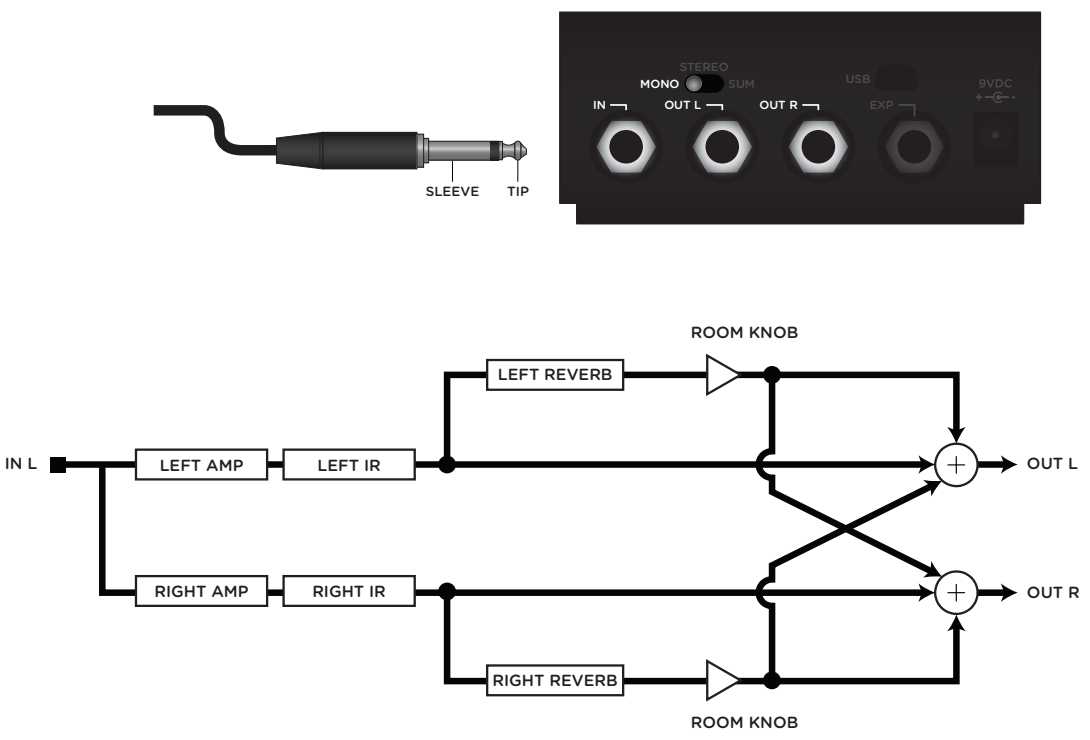
*All product names are trademarks of their respective owners, which are in no way associated or affiliated with Strymon. These product names, descriptions and images are provided for the sole purpose of identifying the specific products that were studied during Strymon’s sound design process. See [page 34](#) for a list of U.S. registered trademarks.

Appendix 3

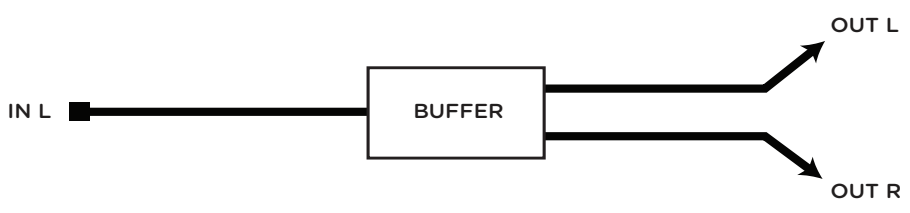
オーディオ・ルーティング

オーディオ ルーティング - モノ入力

モノ信号（ギターやエフェクター信号）は、IN L入力に接続します。
ステレオ出力は**OUT L** & **OUT R**に出力されます。

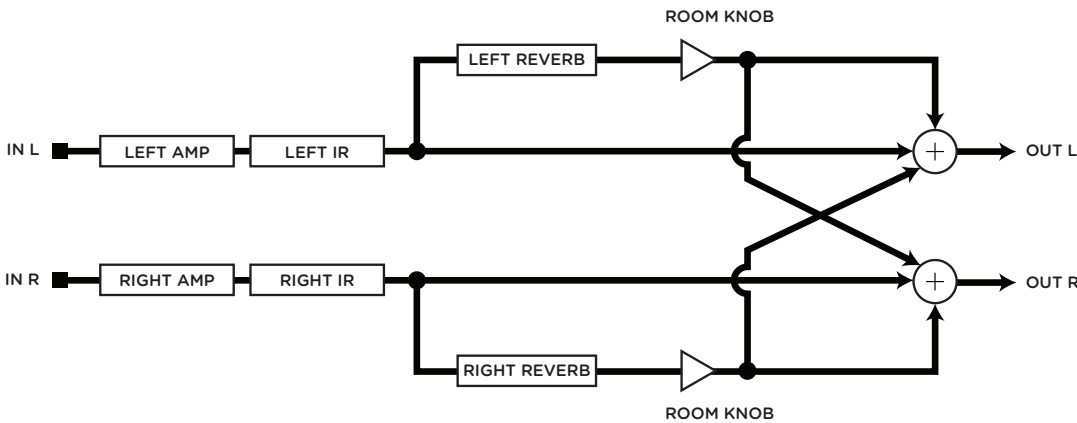
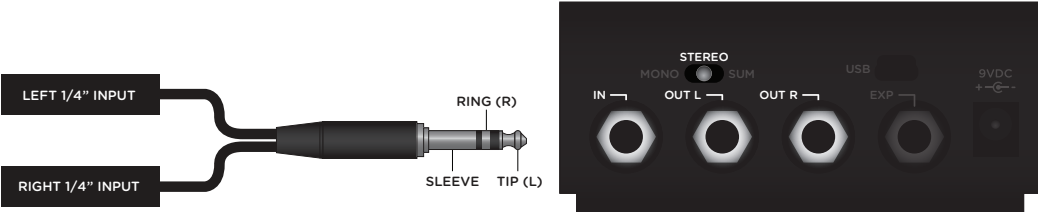


モノ バイパス

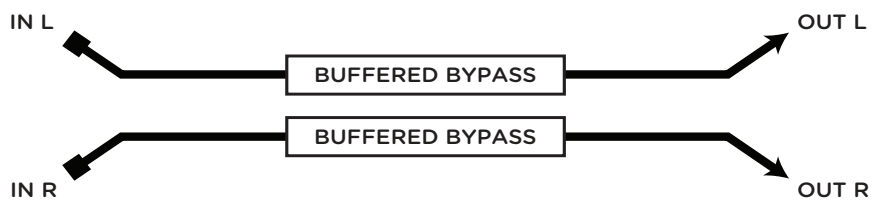


オーディオ ルーティング - ステレオ入力

ステレオ信号の入力には、図のようなTRSケーブルを使用します。
ステレオ出力は**OUT L** & **OUT R**に出力されます。

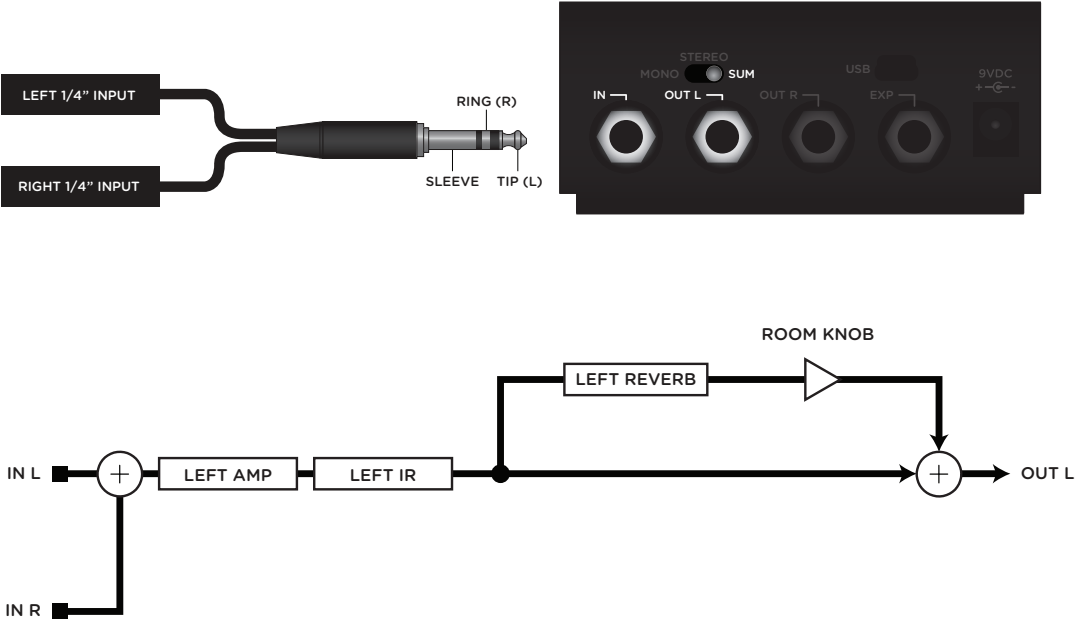


ステレオ バイパス

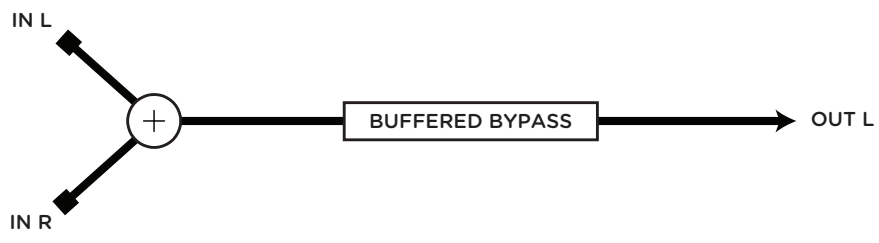


オーディオ ルーティング - サム入力 (ステレオイン - モノアウト)

ステレオ信号の入力には、図のようなTRSケーブルを使用します。
モノ出力は**OUT L**に出力されます。



サム バイパス



Appendix 4

Sample Settings



CLEAN JANGLE
Room Size: Small
(onboard Favorite setting)



CLASSIC CLEAN
Room Size: Medium



CROWN JEWEL
Room Size: Medium



PUNCHED UP
Room Size: Large

品質保証に関して

本機は、Strymon 日本総代理店 株式会社HotoneJapanが、ご購入後1年以内の品質保証を行っております。修理の際は、購入時の保証書(購入期日及び販売店捺印必須)を提示の上、購入された販売店に御依頼下さい。保証書の提示が無い場合は、保証内であっても1年以内の保証の対象にはなりません。また、全ての商品はシリアルナンバーが登録されています。

本書に記載された文章、図版、作品は、全て「著作権」及び、それに付随する「著作隣接権」等の諸権利を保有しています。弊社では、内容を理解することを目的とする使用方法のみを許諾しております。

▲警告:安全のため、特に注意していただきたいこと

1. 異常があるときは、電源プラグをコンセントから抜いて、ご購入先もしくは、弊社迄ご連絡下さい。異常な音がしたり、煙が出て異臭がした時などは、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
2. 電気ショックを避けるため、本体を絶対に開けないで下さい。本機は、高電圧が発生しているため危険です。内部に触ると感電する恐れがあります。内部の調整や修理は、弊社にご依頼下さい。また、火事や感電を避けるために、湿度が非常に高い場所に置いたり、雨天の際に野外で使用することは避けて下さい。

▲警告:次のような場所での使用は出来る限り避けて下さい。

●湿度の非常に高い場所 ●砂やほこりが多い場所 ●台所、バスルーム、湿気の多い地下室など、水のかかりやすい場所 ●空気の循環を妨げる場所、ヒーターの近くなど、湿度が高い場所

■取り扱いについて 乾いた柔らかい布を使用して、外装をきれいに保ちましょう。クリーナーやシンナーは使用しないで下さい。

■サービスについて このマニュアルに記載されていない操作や取り扱いはおこなわないで下さい。記載外の使用法で本機を使用されますと故障が発生する場合があります。本書に基づいた使用法に限定してください。記載外の使用法による破損や修理は、保証期間中の機器であっても保証対象外になります。本体の取扱いは慎重に行ってください。万が一、負傷された場合でも弊社では一切の責任を負いません。

修理が必要な場合は、ホームページ内の「修理について」ページよりご連絡ください。

strymon 正規輸入販売代理

株式会社HotoneJapan

113-0034 東京都文京区湯島2-2-4 JP-BASE御茶ノ水 9F

一般のお問い合わせ：ホームページ内の「お問い合わせ」ページよりご連絡ください。

商品の修理について：ホームページ内の「修理について」ページよりご連絡ください。